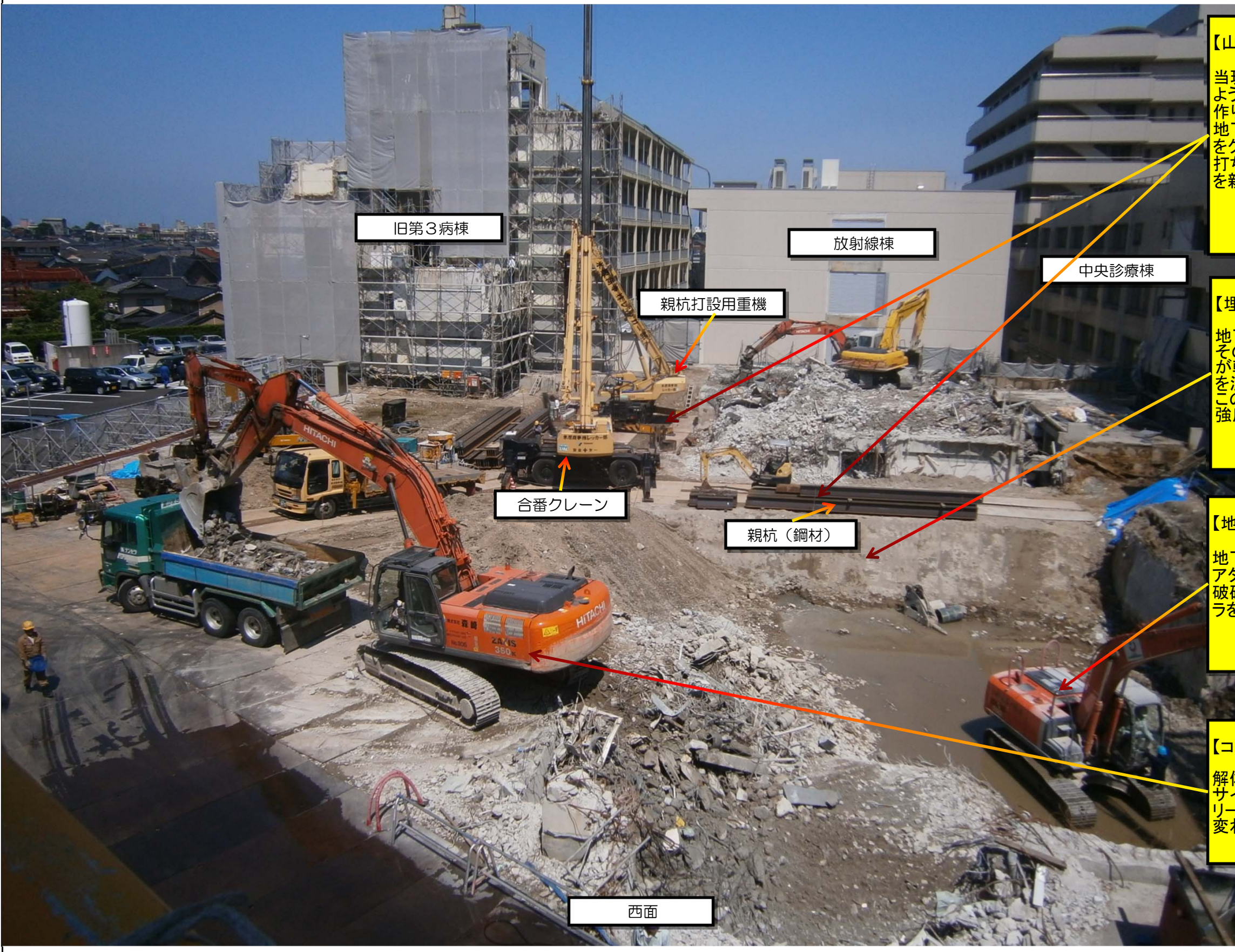


富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院改築工事 工事進捗状況 第Ⅱ期工事 6 月度

主な工事内容	地域医療棟地上躯体の解体が完了し、地下解体準備として山留工事を行なっています。	撮影日 2013.6.27
--------	---	---------------



【山留工事用クレーン】
 当現場では、地下部分を掘削する時に土が崩壊しないようにするため、親杭横矢板工法とよばれる仮設壁を作り土の崩壊を防ぎながら、工事を進めます。地下部分の解体工事準備として、親杭と呼ばれる鋼材をクレーン機を用いて地面に打ち込みます。打ち込んだ後は、掘削に伴い、矢板と呼ばれる木の板を親杭間に取り付けし、壁を作成します。

【埋戻し部分】
 地下解体後、土を埋戻します。その後の工事で使われる重機が地面に沈んで、機械が転倒しないようにするために、埋戻し土にセメント材を混ぜて強度のある地盤とします。この写真では山留工事用の機械が作業しても十分な強度の地盤となっています。

【地下解体】
 地下部分の解体を行なっています。アイヨンと呼ばれるアタッチメントを重機の先端につけてコンクリートの塊を破碎して解体していきます。解体後はコンクリートガラを搬出し、これから土を埋戻していきます。

【コンクリートガラ積込】
 解体されたコンクリートは細かくされ、ダンプに積んでリサイクル工場に運ばれます。工場では、鉄筋とコンクリートを分別して、コンクリートは再生砕石として生まれ変わり、現場で使用されます。

西面